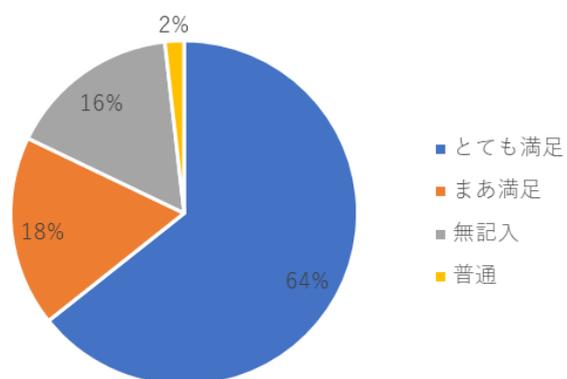


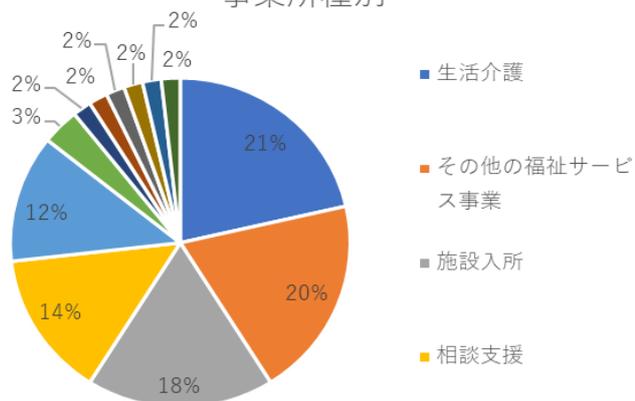
第2回研修会 アンケート結果

会場参加者（午前）59名 アンケート回収率95%

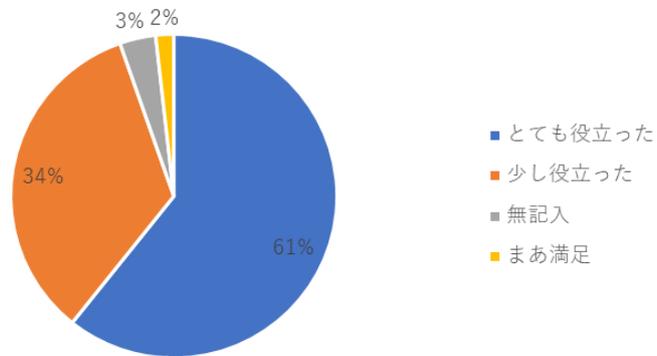
本研修の感想



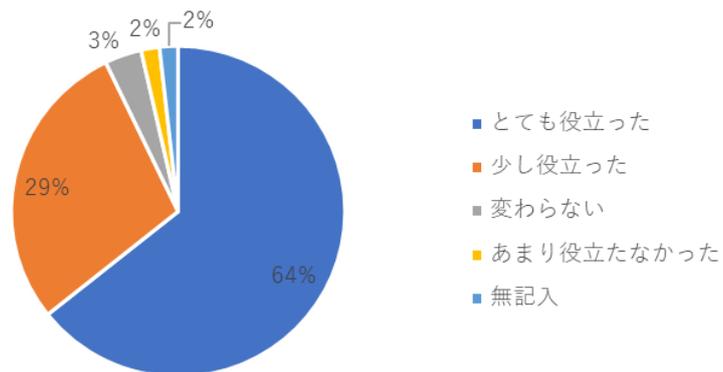
事業所種別



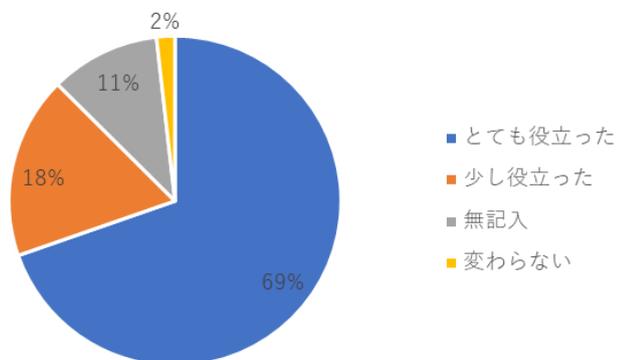
実践発表①（外出支援時に待つことが苦手な方へのバス待ち時間へのチームアプローチ）について



実践発表②（自閉症の方への外出支援のケースを通した発展的事業所改革）について



グループディスカッションについて



① 実践発表（外出支援時に待つことが苦手な方へのバス待ち時間へのチームアプローチ）の感想

- ・ 情報を整理・再整理することの重要性を理解しました。先入観をいかに外していけるか。難しいけど大事ですね。
- ・ 自分の施設でもある程度基本的な支援の流れはつくれているものの、今回の実践のような流れまではできていないから、参考にしたいと思います。
- ・ 利用者さんの強みを生かした支援が参考になりました。また余暇に着目し、無理なく利用者者に合った形で待つことができ、素晴らしい実践でした。

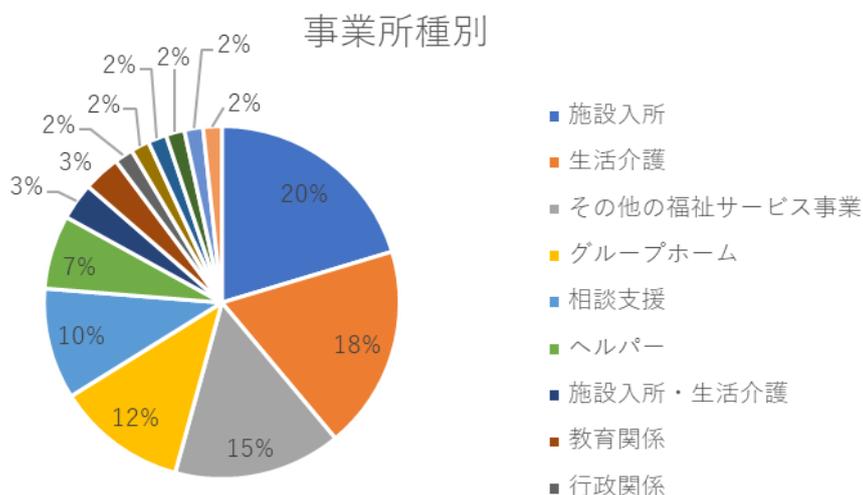
② 実践発表（自閉症の方への外出支援のケースを通した発展的事業所改革）の感想

- ・ 事業所の雰囲気を変えていくために、の視点は勉強になりました。
- ・ 組織内で自分がやってきたことを広めていくことのむずかしさを感じた。
- ・ 選択の自己表出をスモールステップで少しずつ行う事例はマネしていきたいと思った。

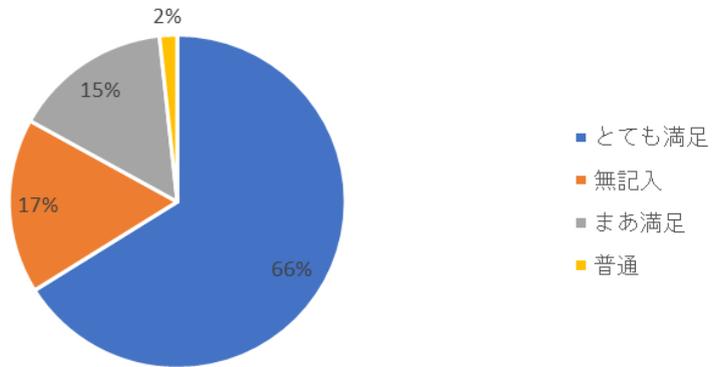
③ 今後の研修の希望

- ・ 困難ケースの事例検討。人材養成について。
- ・ 行政からの視点でのお話をもう少し聞ければ良かったです。お疲れさまでした。
- ・ 屋内での強度行動障がいの方たちの余暇の過ごし方、余暇の見つけ方。

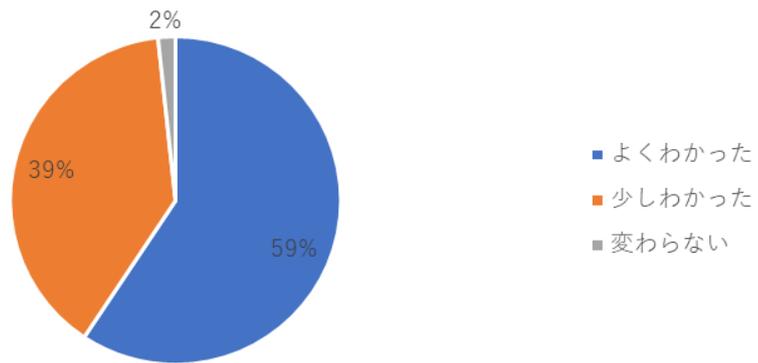
会場参加者（午後）64名 アンケート回収率92%



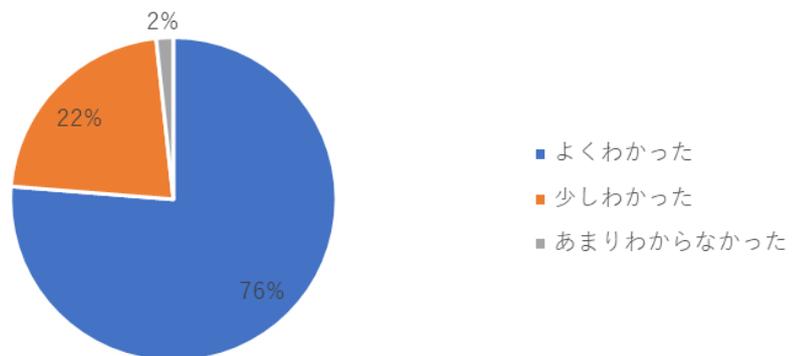
本研修の感想



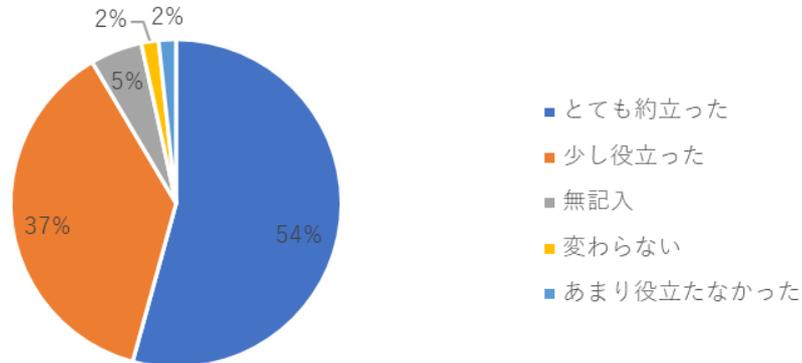
行政説明（強度行動障がい者を有する者に対する地域支援体制）について



講義（困難ケースに取り組む上での心得）について



シンポジウム（札幌の行動障がい支援の現状と今後の展望）について



① 行政説明（強度行動障がいを有する者に対する地域支援体制）の感想

- ・ 制度、福祉を取り巻く状況について、改めて自身の勉強不足、知識不足を感じました。しっかりと知識を得る姿勢、思いを整え、必要とされる人材へと成長していきたいと思いました。
- ・ 強度行動障がいを有する方に対する支援について現在どのような動きがあるのかを知ることができ勉強になりました。
- ・ 一つの事業所で働いており、制度の勉強をあまりしていない中で、このような政策の部分学ぶことができ、とても勉強になりました。

② 講義（困難ケースに取り組む上での心得）の感想

- ・ とってもわかりやすい講義で、現場に戻り明日から実践できるものもありました。自身の立場を再度確認しながらよいチーム、よい事業所、支援につなげられるように努力したいと思います。
- ・ チームとして支援を進めていくうえで大切になる考え方・ポイントがよくわかりました。
- ・ チームの大切さ。支援力、組織力、人間力を向上させる大切さ。自分の弱いところをあげることで、自分の強みを上げることも大切。色々大切なキーワードを教えてもらえました。これからも頑張れそうです。

③ シンポジウム（札幌の行動障がい支援の現状と今後の展望）の感想

- ・ 異なる立場からのお話、大変参考になりました。福祉の良さ、やりがい、広めていきたいと思います。
- ・ リーダーのしくみづくり、チームづくりと視点がずれてる。聞きたい内容でない。

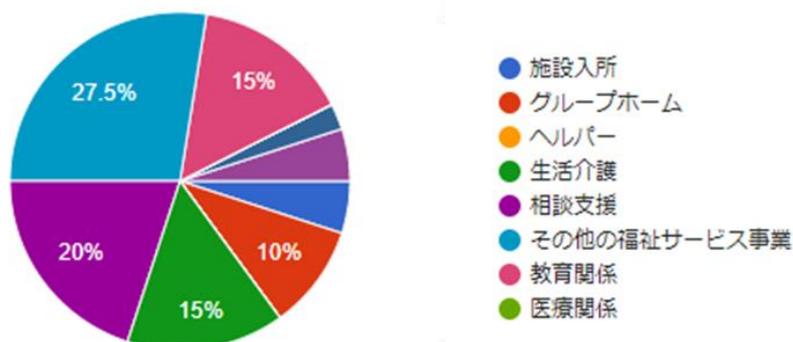
- ・ 行政と協力し行動障がい支援を行う必要があると感じた。福祉の仕事のやりがい、大切さをより多くの人に伝えていきたい。

④ 今後の研修の希望

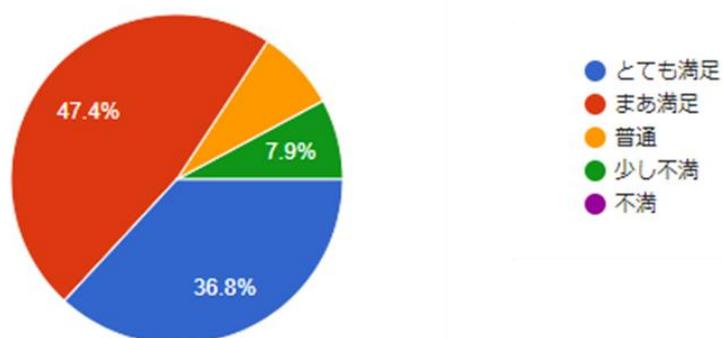
- ・ 地域ごとに顔が見える関係をつながることができる研修。教育と福祉がつながる場。
- ・ 異分野・同分野とのディスカッションを行える機会を作ってほしい。
- ・ 全道的な取り組みにひろがるような研修があれば良いなと感じました。

動画視聴者 157 名（138 視聴） アンケート回収率 29%（※動画視聴回数にもとづき）

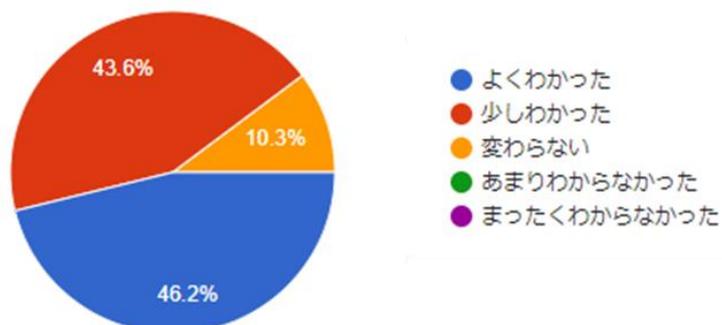
事業所種別



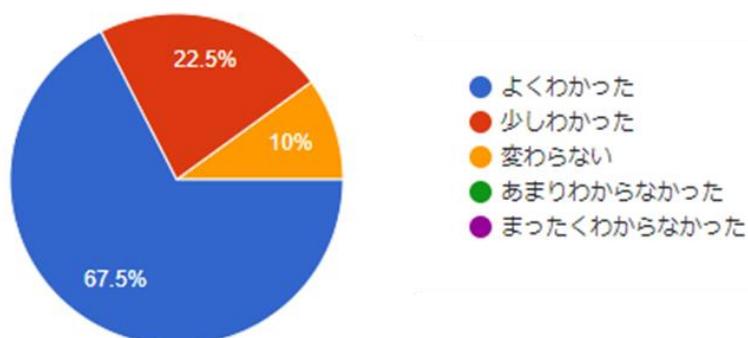
本研修の感想



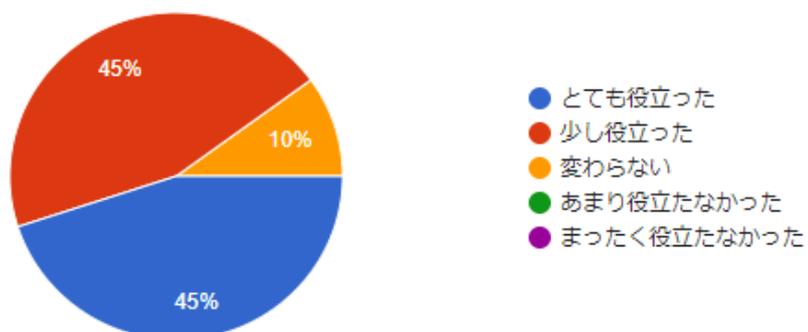
行政説明（強度行動障がいをもつ者に対する地域支援体制）について



講義（困難ケースに取り組む上での心得）について



シンポジウム（札幌の行動障がい支援の現状と今後の展望）について



① 行政説明（強度行動障がい有者に対する地域支援体制）の感想

- ・ 重度訪問介護を必要に応じてピンポイントでも入れる体制がもっともっと取れると、強度行動障害の方々でも地域生活に移行しやすく、生活しやすくなりましょ
うか・・・
- ・ 人材不足を解消していく上で、行政の取組みの具体的な説明が聞きたかった。
- ・ サービスに繋がっていない一定数の当事者の方たちを地域で支えていくために、
自事業所で担える役割はどのようなものがあるだろうか意識する機会となりました。

② 講義（困難ケースに取り組む上での心得）の感想

- ・ 良いチーム作りについての心得を学ぶ事が出来、とても有意義なお話を聞く事が
出来ました。
- ・ 支援力を上げていくには、どのような取組みが必要か議論していく必要もあると
思います。
- ・ とても面白い言い回しでリラックスしてきけましたが、教育現場でこのようなチ
ーム態勢を作っていくのは、現場によると思いました。

③ シンポジウム（札幌の行動障がい支援の現状と今後の展望）の感想

- ・ 福祉サービスにおいて、それぞれの事業の専門性が高まり、連携が図れるシステ
ムが作られていくことに期待しております。
- ・ 行動障がいを持つ方への関わり方や支援方法をもっと具体的に知りたかった。
- ・ 職場でも自宅でも行動障害のある子たちと毎日過ごしています。札幌での取り組
みなどを聞くことができ、函館でも行動障害のある人たちへの支援が良くなって
いけばと思っています。様々な地域の行動障害のあるかたへの支援について情報
収集しているところでした。とても勉強になりました。

④ 今後の研修の希望

- ・ とても分かりやすく理解というか取組みとしては同じなのだ実感しましたが、
組織創り、人間力といった課題はとても大きな課題かと思っています。実際、カン
ファレンスを行ってもその結果を受け止め行動できる人材ばかりではない現実と向
き合うことも多くあるけれど、この様な研修の中で、再度あきらめず体制整備を行
うことの大切さを改めて職員と共に話し合い考える時間を創りました。
- ・ オンラインかつ別日に視聴できる研修であれば参加できるので、同様の形態での研
修を希望いたします。よろしく願いいたします。
- ・ 強度行動障害を有する方々の生きづらさ、またその方々への支援の困難さは十分に
分かっているつもりです。職員の不足から強度行動障害の方を受け入れできない。
無理して受け入れると支援の困難さから虐待行為に発展してしまう恐れ。加配して
加算をとっているのに給料がなかなか上がらない。給料はいいはずなのに定着しな
い。そんな負のスパイラルをどうしたら回避できるのでしょうか。本当に不安に感

じましたし、何とか打開策を練らなければとも思っております。